



## 2014年3月期 決算説明会

---

2014年5月9日  
日本ユニシス株式会社

全体総括

決算概要

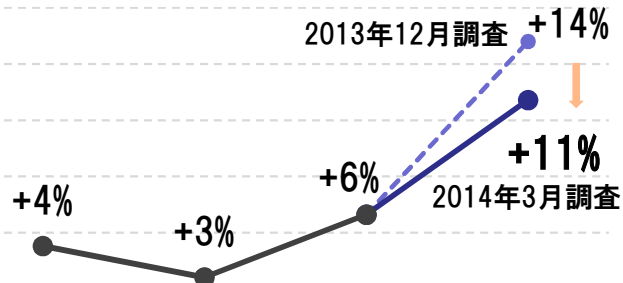
中期経営計画(2012→2014)の進捗

- ✓ ソフトウェア投資は、2014年度も引き続き堅調な見通し
- ✓ IT投資を伴うビジネステーマにより、高水準での投資が継続

## 【日銀短観ソフトウェア投資計画（前年比成長率）】

### 2013年度

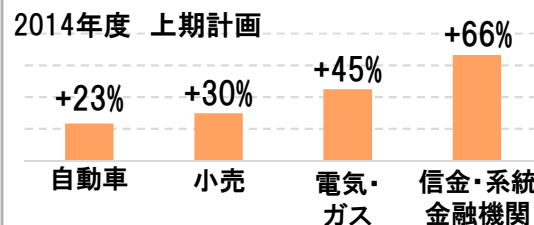
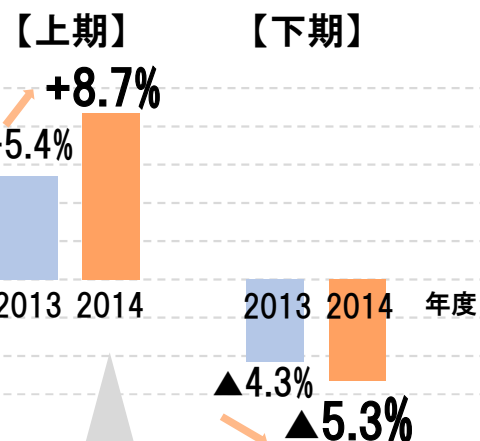
#### 投資推移



通期	通期	上期	下期
2011	2012	2013	2013年度

### 2014年度

#### 期初計画 前年比較 (3月調査比較)



## 【ビジネステーマ】

### 2015年度～

- 電力 発送電分離
- 地域活性化
- マイナンバー制度
- スマートシティ
- 東京オリンピック

- O2O オムニチャネル
- ビッグデータ
- M2M IOT

【全規模、全産業(金融を含む)】 出典：日本銀行 全国企業短期経済観測調査

- ✓ 売上高は、前期および予想を上回る
- ✓ 営業利益は増益も、競争激化による製品の利益率低下で予想を下回る
- ✓ 当期純利益は増益を確保し、ROEは9%に改善

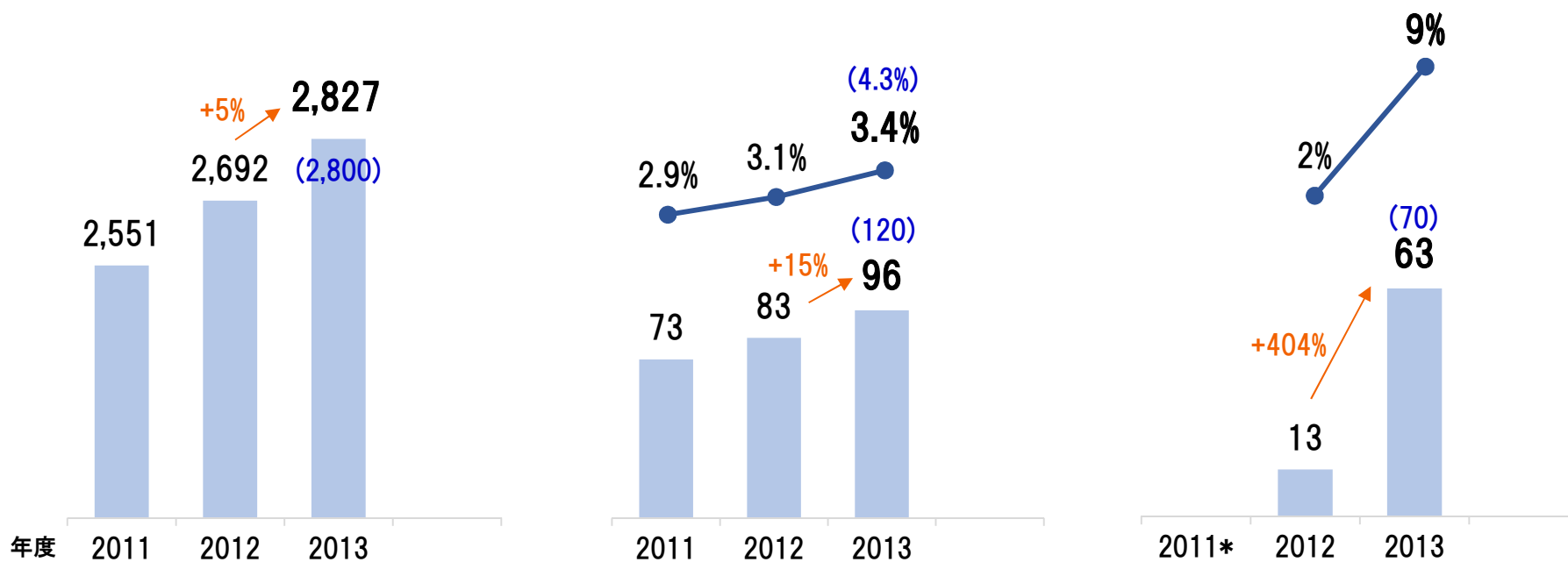
(億円)

売上高

営業利益／  
営業利益率

当期純利益／  
ROE

注：( )カッコ内は予想数値(3Q時点)



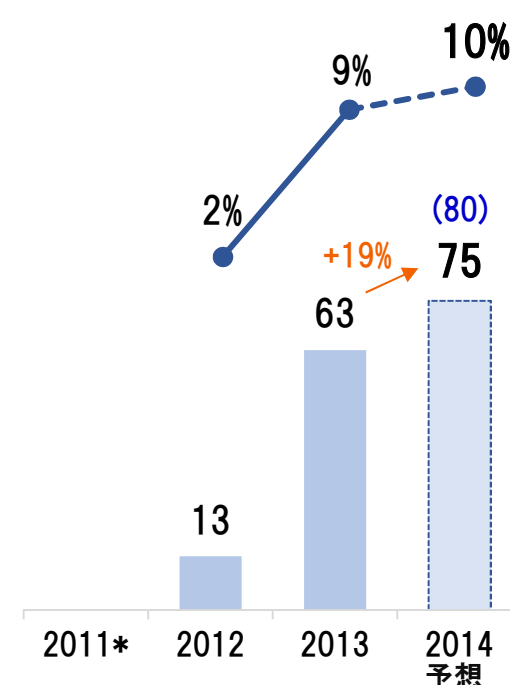
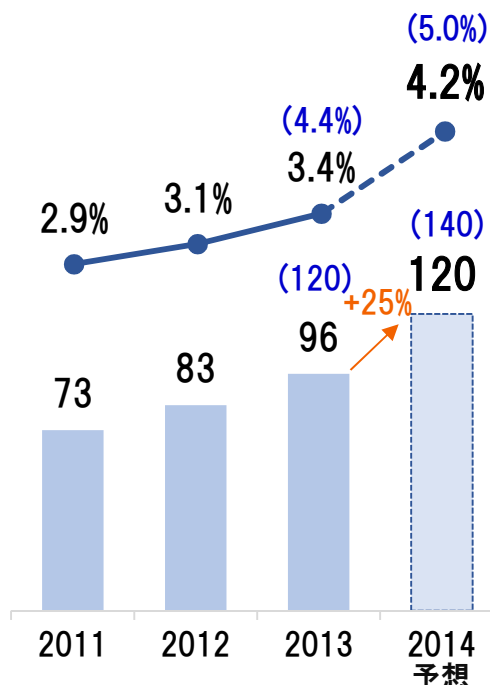
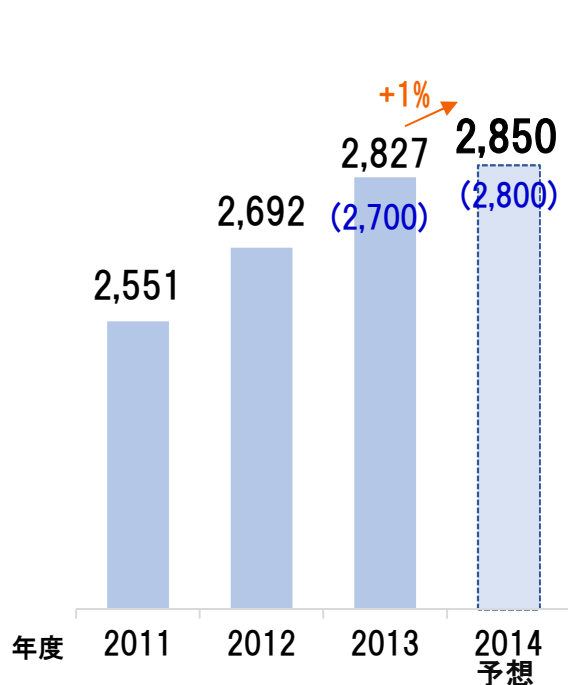
\*2011年度は繰延税金資産取崩計上で損失計上

# 2014年度予想の概要

- ✓ 売上高は、反動減をコアビジネス売上でカバーし増収の見通し
- ✓ 営業利益は、増収およびコスト管理の徹底により増益を見込む
- ✓ 当期純利益は増益、ROEは10%の見通し



注：( )カッコ内は中期経営計画(2012→2014)での計画値

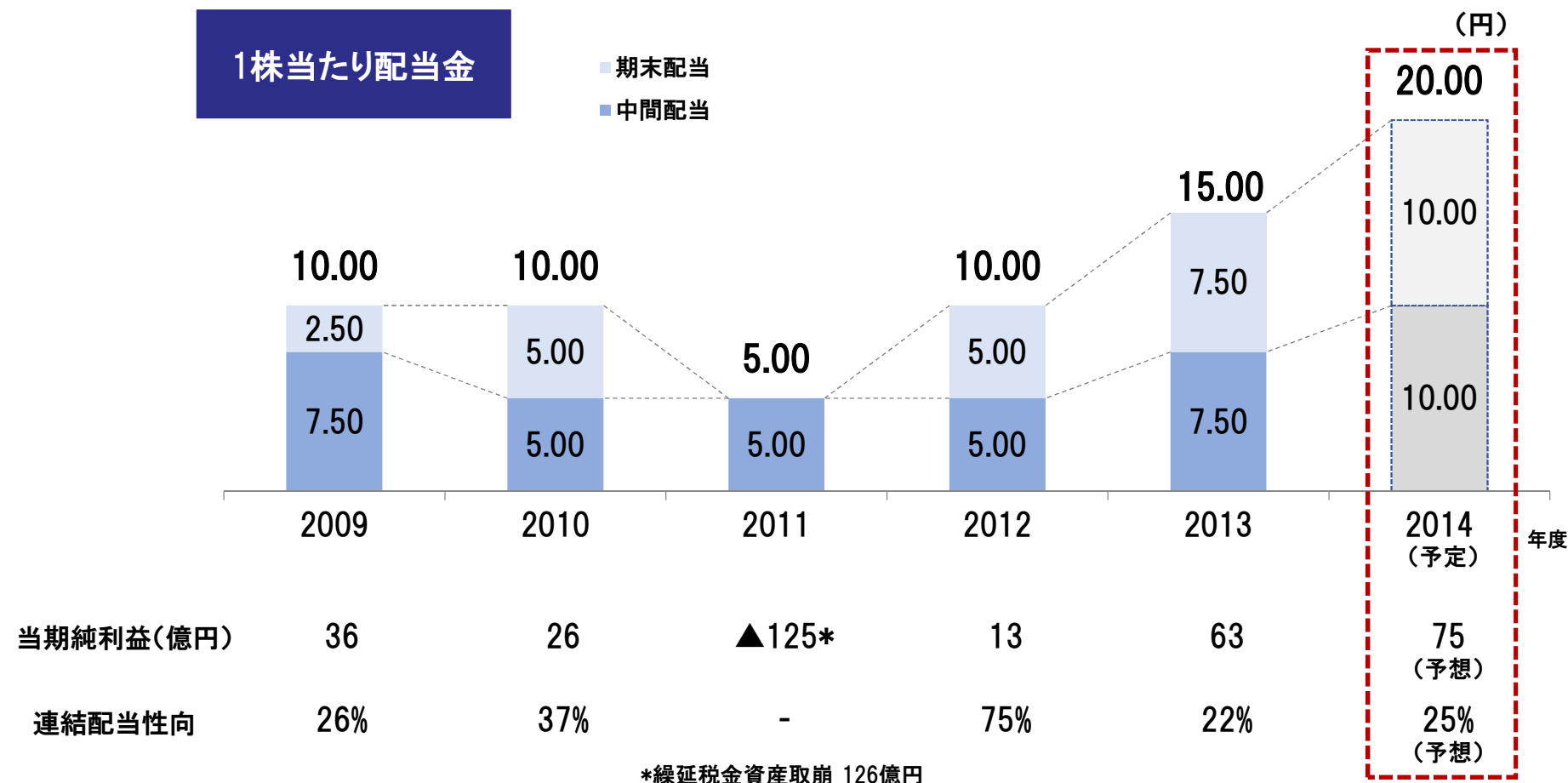


\*2011年度は繰延税金資産取崩計上で損失計上

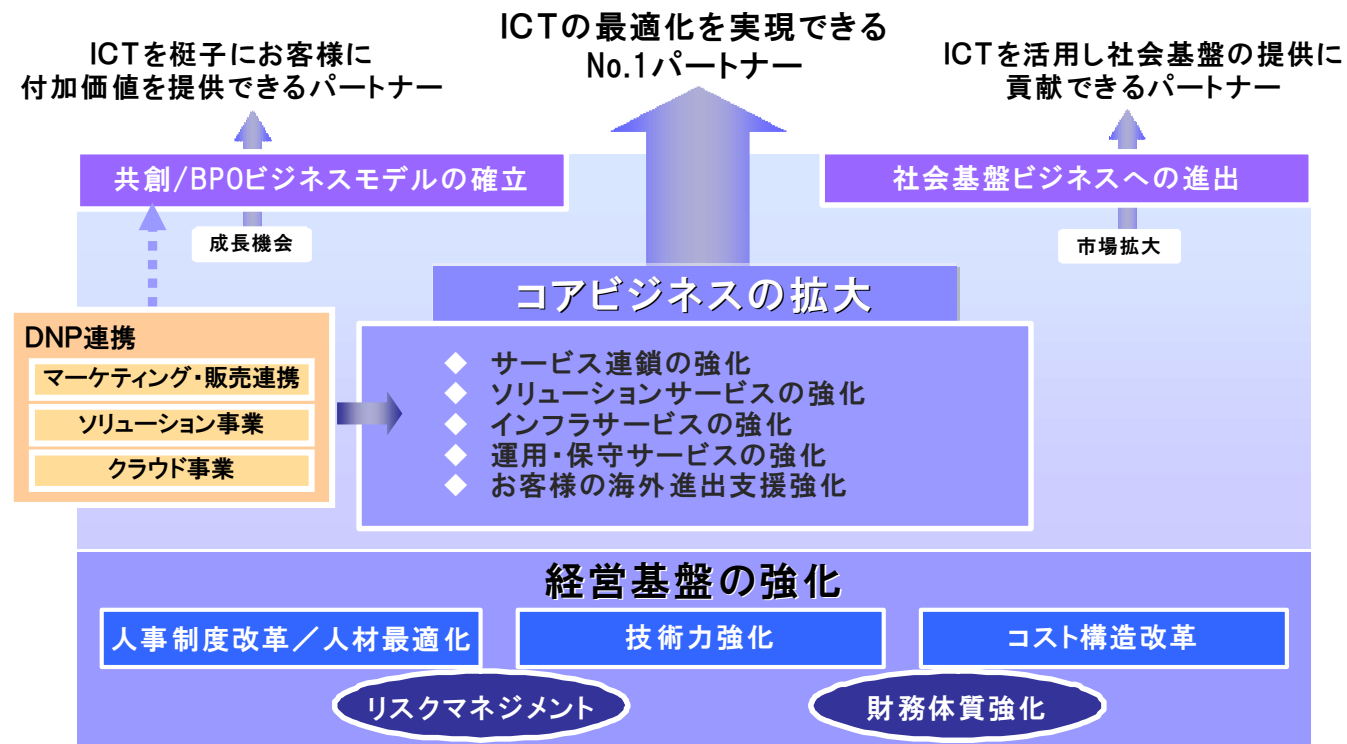
- ✓ 2013年度：年間配当 15円予定（5円増配/配当性向22%）
- ✓ 2014年度：年間配当 20円予定（5円増配/配当性向25%）

## 1株当たり配当金

■ 期末配当  
■ 中間配当



- ✓ コアビジネス※の拡大による収益基盤強化
- ✓ 新たな機会から将来のビジネス拡大
- ✓ 持続的成長に向けた経営基盤の強化



- ② 新ビジネスに挑戦
- ① コアビジネスの拡大
- ③ 経営基盤の強化

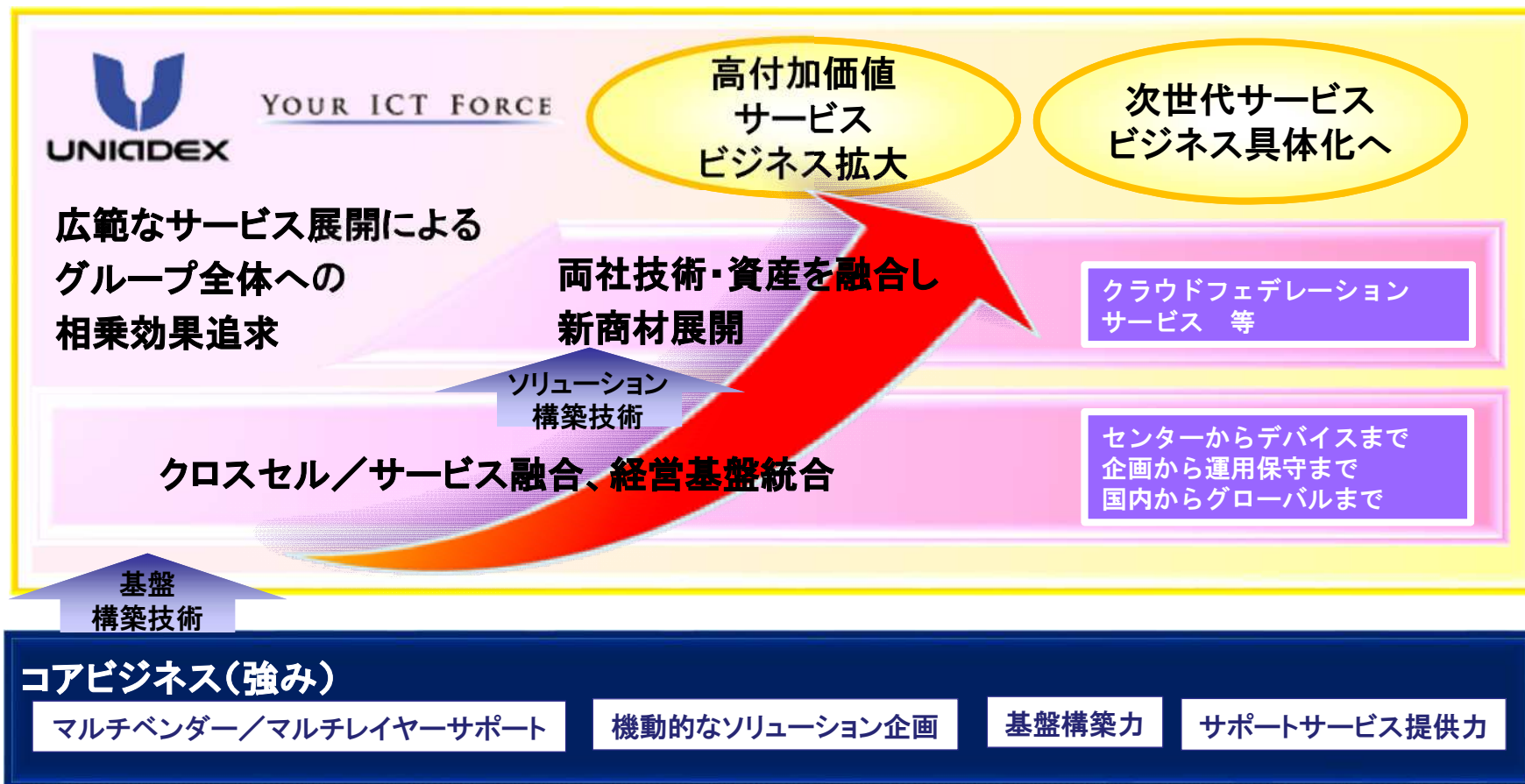
※システムインテグレーション、ネットワークインテグレーション、運用・保守サービスなどの既存事業領域

# コアビジネスの拡大を支える「新生ユニアデックス」

- ✓ 2014年3月、ユニアデックスとネットマークスを統合
- ✓ ITインフラをコモディティとせず、高付加価値サービスビジネスを拡大

2014

2015~

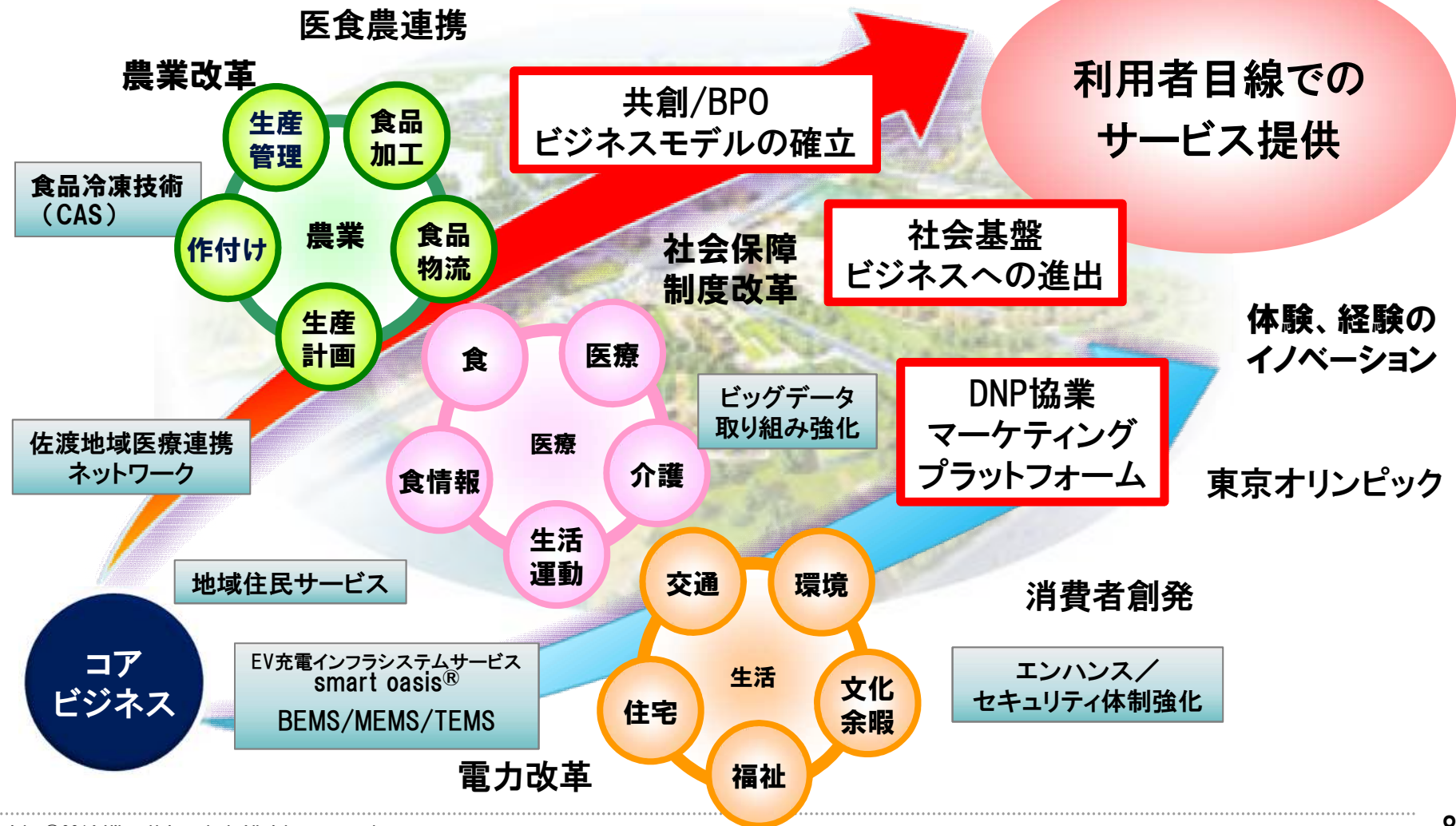




# 中長期成長に向けて サービスアグリゲータへ進化

✓ コアビジネスの展開と新ビジネスへの挑戦を継続し、新たなサービスを創造

## 一次産業の第6次産業化



全体総括

決算概要

中期経営計画(2012→2014)の進捗

# 2014年3月期 連結経営成績（予想比）

1月31日公表の予想比で、売上高は上振れたものの、競争激化により製品の利益率が想定を下回り、営業利益は未達

（億円）

	2014/3期 通期			
	実績	予想(1/31)	予想差異	
<b>売上高</b>	<b>2,827</b>	<b>2,800</b>	<b>+27</b>	
<b>売上総利益</b>	<b>636</b>	<b>668</b>	<b>▲32</b>	
システムサービス	159	167	▲8	サービス (▲6)
サポートサービス	164	160	+4	
アウトソーシング	71	69	+2	
ネットマークスサービス	45	44	+1	
その他サービス	24	30	▲6	
ソフトウェア	96	110	▲14	製品 (▲26)
ハードウェア	77	88	▲11	
販管費	▲540	▲548	+8	コスト削減 (+8)
<b>営業利益</b>	<b>96</b>	<b>120</b>	<b>▲24</b>	
<b>当期純利益</b>	<b>63</b>	<b>70</b>	<b>▲7</b>	

## 製品販売の反動減をカバーし、増収増益

（億円）

### 【通期】

	2014/3期	2013/3期	前期比増減	
売上高	2,827	2,692	+135	+5.0%
営業利益	96	83	+13	+15.2%
経常利益	98	83	+15	+18.1%
当期純利益	63	13	+51	+404.0%

### <通期>

- **売上高**  
製品の反動減をサービスの伸長でカバーし増収
- **営業利益**  
増収効果に加え、コスト削減が寄与し増益
- **当期純利益**  
営業増益に加え、投資有価証券評価損の減少等により増益

### （ご参考）

### 【4Q(1-3月)】

	2014/3期			
	3Q累計	前年同期比増減	4Q(1-3月)	前年同期比増減
売上高	1,906	+96 (+5.3%)	921	+39 (+4.4%)
営業利益	27	▲22 (▲44.2%)	69	+34 (+99.9%)

### <4Q(1-3月)>

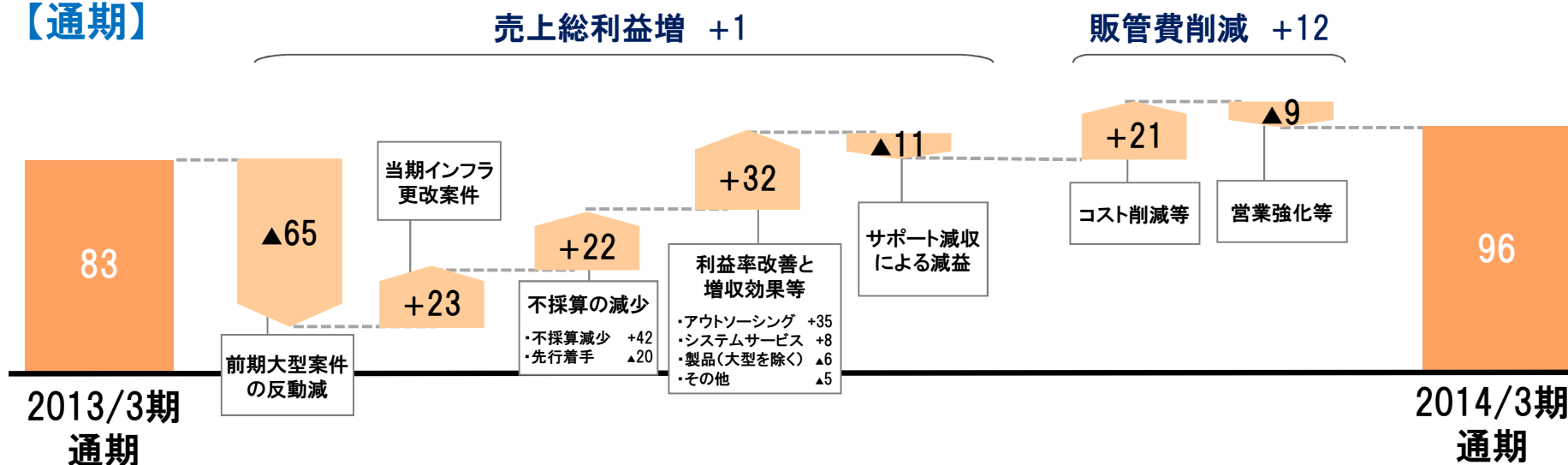
- **売上高**  
製品の反動減をカバーし増収
- **営業利益**  
高採算案件計上等により増益



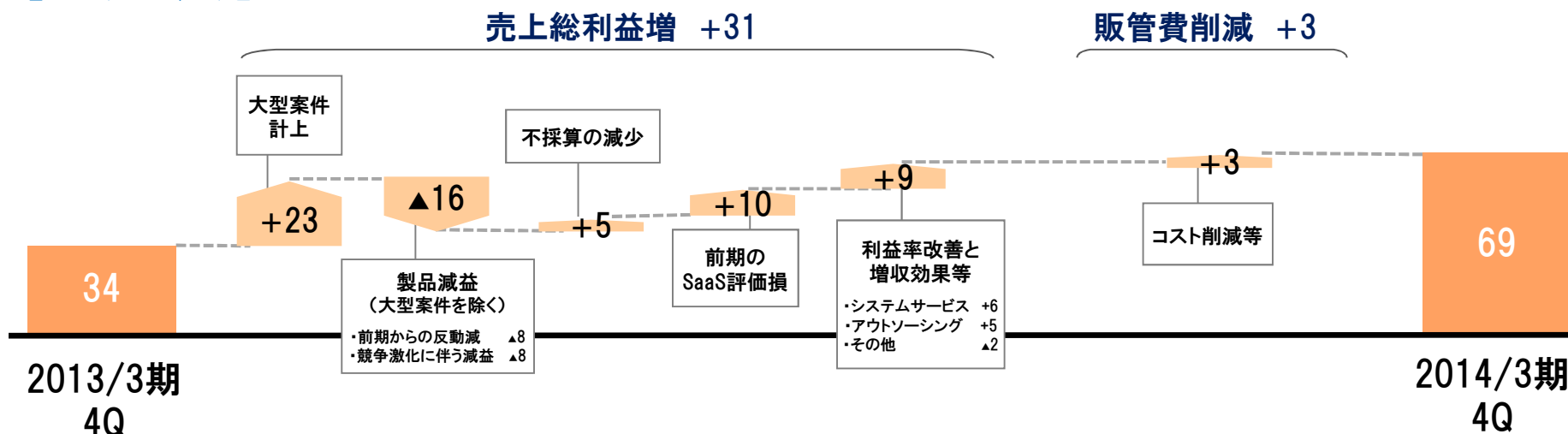
# 営業利益の前期比増減要因

(億円、増減は前期比)

## 【通期】



## 【4Q(1-3月)】

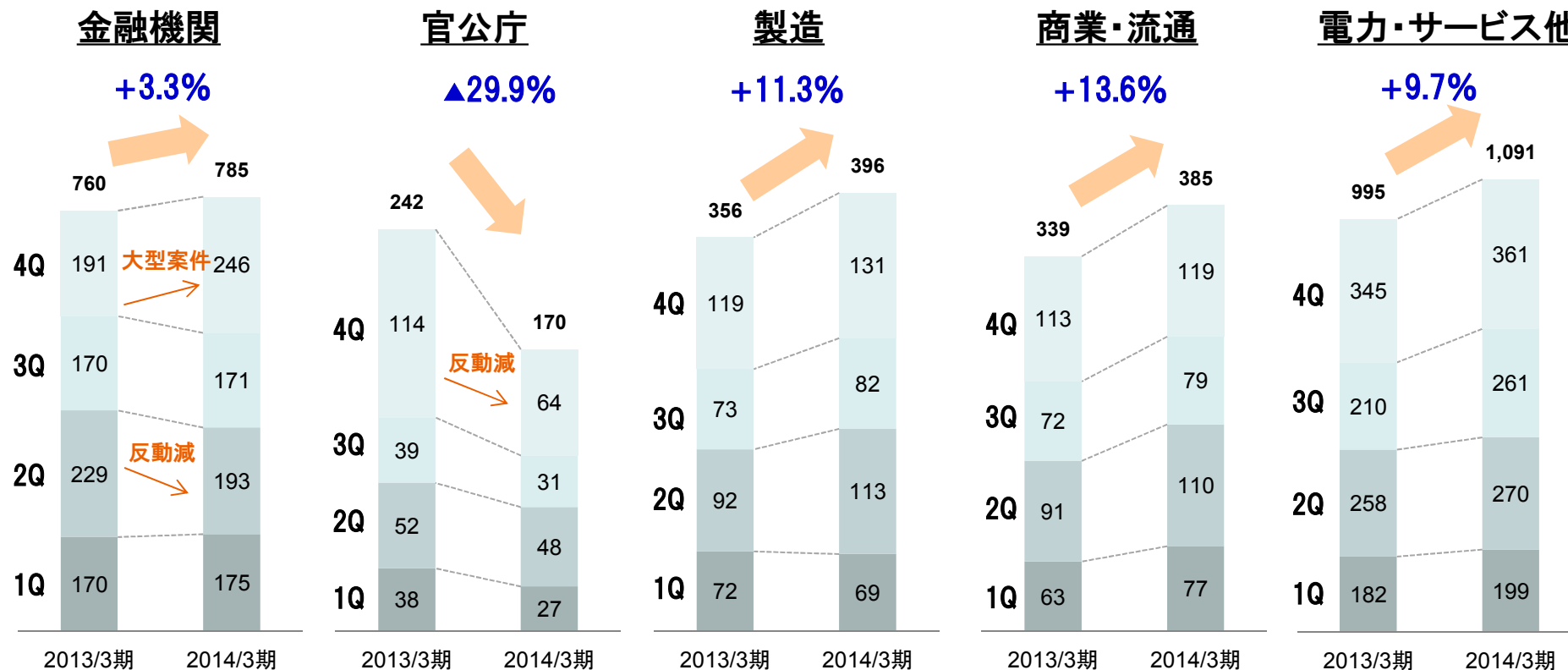


# セグメント別の状況

		2014年3月期				
(億円)		売上高	前期比	総利益 総利益率	前期比	補足
<b>合 計</b>		<b>2,827</b>	<b>+135 (+5.0%)</b>	<b>636 22.5%</b>	<b>+1 ▲1.1pt</b>	売上高はサービスが牽引するも、利益は製品の反動減により前期並み
<b>サ ー ビ ス</b>		<b>1,997</b>	<b>+131 (+7.0%)</b>	<b>464 23.2%</b>	<b>+49 +1.0pt</b>	
	システムサービス	794	+71 (+9.8%)	159 20.1%	+30 +2.1pt	中小型案件の増加等により、増収増益
	サポートサービス	491	▲22 (▲4.3%)	164 33.3%	▲11 ▲0.7pt	契約条件の変更や導入サービスの反動減などにより、減収減益
	アウトソーシング	353	+30 (+9.2%)	71 20.2%	+35 +8.9pt	新ビジネスの増加や効率改善により、増収増益
	ネットマークスサービス	265	+47 (+21.7%)	45 17.0%	+6 ▲1.1pt	UC(ユニファイドコミュニケーション)案件等により、増収増益
	その他サービス	93	+5 (+5.7%)	24 26.0%	▲10 ▲13.0pt	設備工事増で増収も、採算性低下で減益
<b>製 品</b>		<b>830</b>	<b>+4 (+0.5%)</b>	<b>172 20.8%</b>	<b>▲48 ▲5.9pt</b>	
	ソフトウェア	313	+6 (+1.9%)	96 30.6%	▲9 ▲3.6pt	前期高採算案件の反動減を利益面ではカバーしきれず
	ハードウェア	517	▲2 (▲0.3%)	77 14.8%	▲39 ▲7.5pt	反動減に加え、競争激化による利益率低下により、減収減益

## 官公庁を除き全業種とも堅調

(億円)



**(金融機関)**  
大型案件計上等で前期からの反動減を補い堅調維持

**(官公庁)**  
減収傾向のなか4Qは前期からの反動減もあり低迷

**(製造)**  
自動車や食品など幅広い業種で好転

**(商業・流通)**  
小売向けを中心に堅調維持

**(電力・サービス他)**  
電力向けは反動減も運輸や通信向けなどが堅調維持

## アウトソーシングで大型案件を複数計上、製品は反動減の影響

(億円)

	2014年3月期				補足
	受注高	前期比	受注残	前期比	
<b>合計</b>	<b>3,098</b>	<b>+502 (+19.4%)</b>	<b>2,159</b>	<b>+271 (+14.4%)</b>	アウトソーシング大型案件の計上等により、受注高・受注残とも大幅増加
<b>サービス</b>	<b>2,305</b>	<b>+548</b>	<b>1,962</b>	<b>+308</b>	
システムサービス	767	+17	216	▲28	中小型案件が積み上がり受注高は増加、前期は期末に集中したため受注残は減少
サポートサービス	489	▲43	409	▲3	反動減の影響もあり受注高、受注残とも減少
アウトソーシング	684	+526	1,211	+331	複数の長期大型案件を計上したことにより、受注高、受注残とも増加
ネットマークスサービス	276	+46	88	+11	UC(ユニファイドコミュニケーション)案件の増加等で、受注高、受注残とも増加
その他サービス	90	+2	38	▲3	—
<b>製品</b>	<b>793</b>	<b>▲46</b>	<b>197</b>	<b>▲37</b>	
ソフトウェア	284	▲80	142	▲29	前期大型案件の反動減等により、受注高、受注残とも減少
ハードウェア	509	+34	56	▲8	小型サーバ等の伸張により、受注高は増加

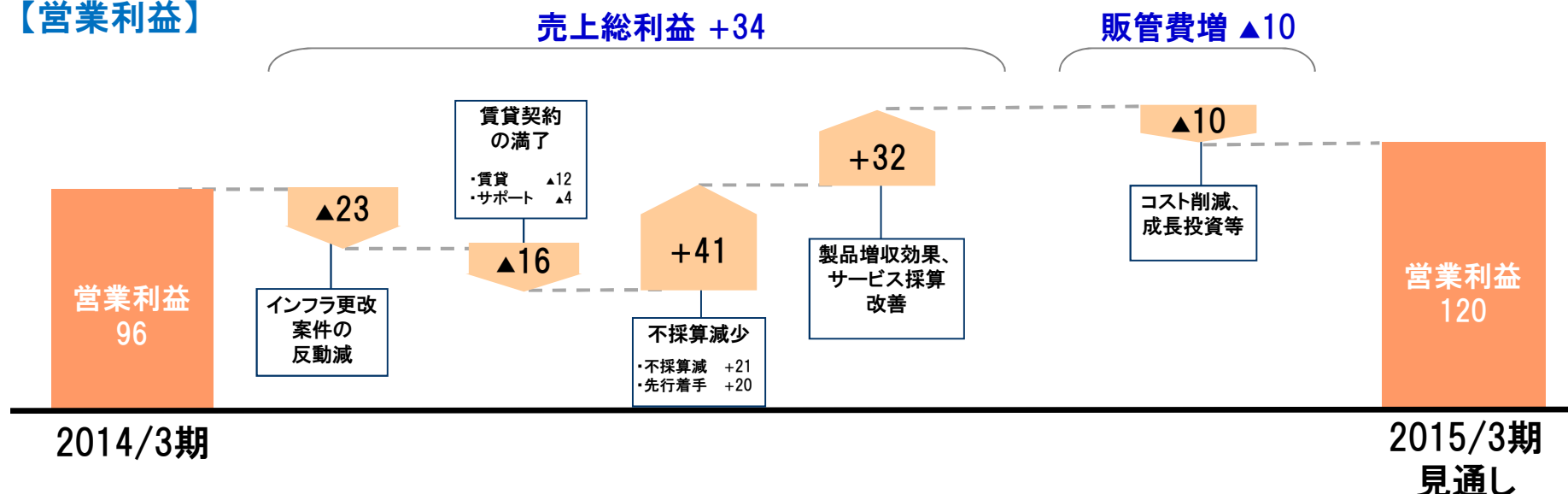


売上高は反動減をカバーして増収、さらにコスト管理徹底により、増益を見込む

(億円)

	2015年3月期 予想		2014年3月期 実績		前期比増減	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	率
売上高	2,850	-	2,827	-	+23	+0.8%
営業利益	120	4.2%	96	3.4%	+24	+25.3%
経常利益	113	4.0%	98	3.5%	+15	+15.0%
当期純利益	75	2.6%	63	2.2%	+12	+19.0%

## 【営業利益】



# バランスシートおよびキャッシュ・フローの状況

## バランスシート

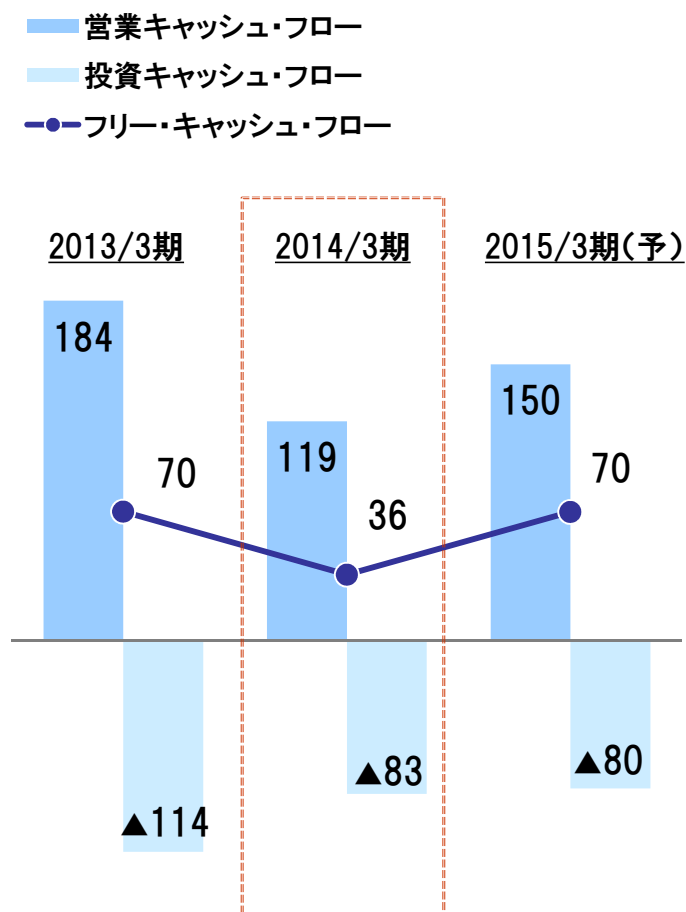
(億円)

2013/3期末	2014/3期末*1	2015/3期末(予)*2																		
総資産 1,978	総資産 2,025	総資産 1,984																		
<table border="1"> <tr> <td>流動資産 1,240</td> <td>負債 637</td> </tr> <tr> <td></td> <td>有利子負債 661 (409)</td> </tr> <tr> <td>固定資産 737</td> <td>純資産 679</td> </tr> </table>	流動資産 1,240	負債 637		有利子負債 661 (409)	固定資産 737	純資産 679	<table border="1"> <tr> <td>流動資産 1,284</td> <td>負債 593</td> </tr> <tr> <td></td> <td>有利子負債 672 (385)</td> </tr> <tr> <td>固定資産 741</td> <td>純資産 760</td> </tr> </table>	流動資産 1,284	負債 593		有利子負債 672 (385)	固定資産 741	純資産 760	<table border="1"> <tr> <td>流動資産 1,318</td> <td>負債 606</td> </tr> <tr> <td></td> <td>有利子負債 622 (335)</td> </tr> <tr> <td>固定資産 666</td> <td>純資産 756</td> </tr> </table>	流動資産 1,318	負債 606		有利子負債 622 (335)	固定資産 666	純資産 756
流動資産 1,240	負債 637																			
	有利子負債 661 (409)																			
固定資産 737	純資産 679																			
流動資産 1,284	負債 593																			
	有利子負債 672 (385)																			
固定資産 741	純資産 760																			
流動資産 1,318	負債 606																			
	有利子負債 622 (335)																			
固定資産 666	純資産 756																			

自己資本	665	748	746
自己資本比率	33.6%	36.9%	37.6%
ネットD/Eレシオ	0.61	0.51	0.45
ROE	2%	9%	10%

## キャッシュ・フロー

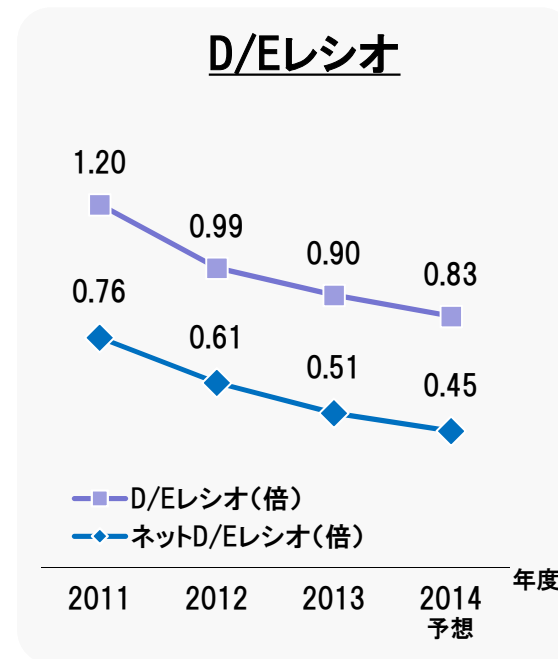
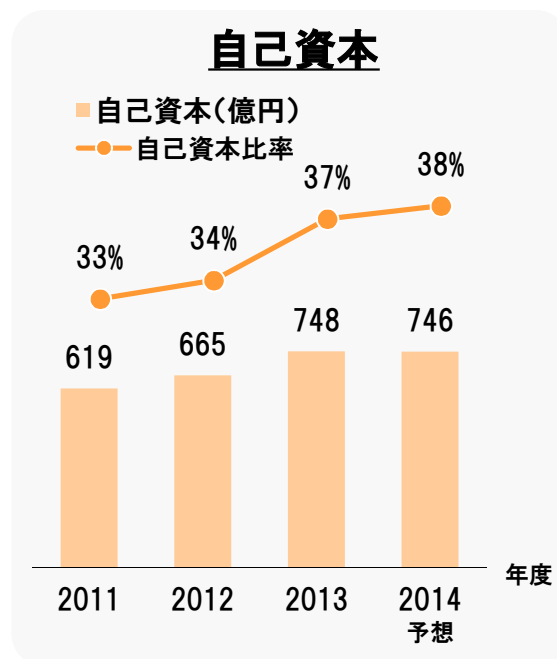
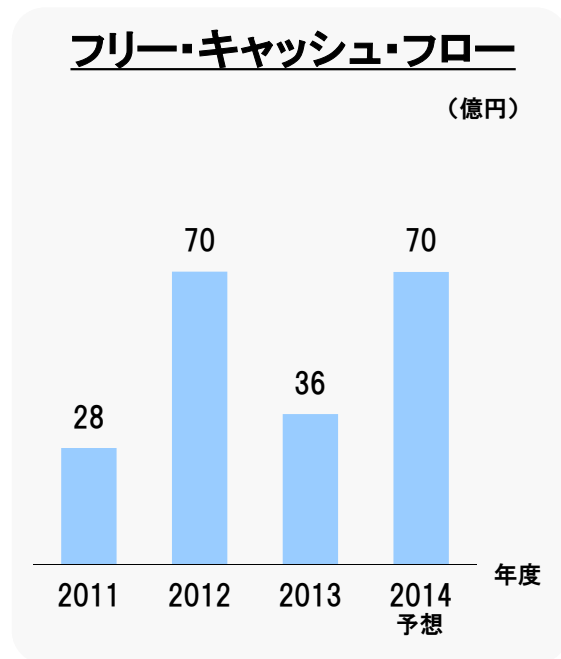
(億円)



\*1 会計基準変更に伴う退職給付に係る調整累計額(+17億円)を反映

\*2 新会計基準適用に伴う割引率切り下げ等の影響額(▲61億円)を反映

## 「財務体質強化」に向けて、順調に推移



当社成長戦略を踏まえ、資本効率を重視した財務施策を推進



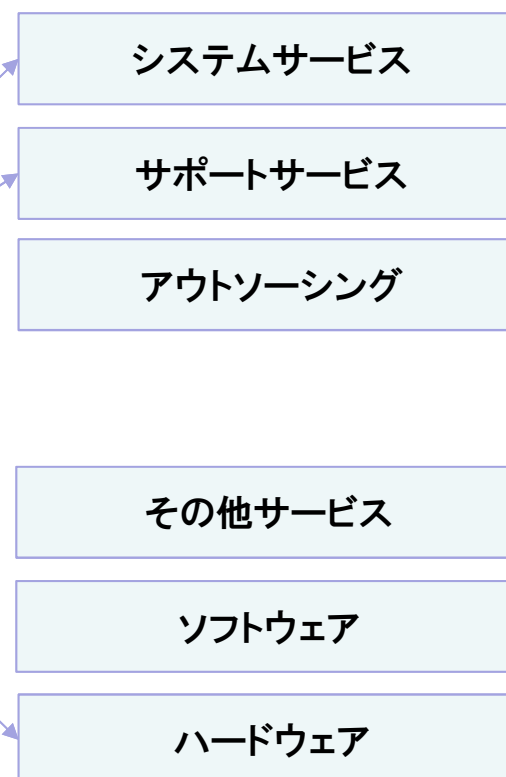
# (ご参考)開示セグメントの変更に関するお知らせ

## ユニアデックスとネットマークスの経営統合に伴い 2015年3月期より開示セグメントを変更

2014年3月期まで



2015年3月期から



※新セグメントによる2014年3月期の数値は『2014年3月期連結決算補足資料』をご参照ください。

全体総括

決算概要

中期経営計画(2012→2014)の進捗

- ✓ 基幹系ビジネス好調、インフラ／運用・保守サービス強化などによりトップラインは順調
- ✓ 強みを活かし、コアビジネスのさらなる拡大を図る

## 強み・特色

お客様の基幹システムを支える  
技術力

大規模基盤構築力

サポートサービス提供力

お客様と共にビジネスを創る  
ソリューション技術力

業務知識・ソリューション

データ分析力

トータル・サービスの提供

## 強み・特色を活かしたコアビジネスの拡大

- ✓ 地銀勘定系Bank Vision®10行目新規採用、スルガ銀行稼働(2014.1)、信金勘定系SBI21大手新規顧客を獲得
- ✓ 情報系インフラビジネス拡大、川崎信用金庫統合OAシステム稼働(2014.3)
- ✓ CoreCenter®シリーズ受注好調

- ✓ NEXCO西日本コールセンターシステム・お客様の声分析システム稼働(2013.10-11)
- ✓ ユニファイド・コミュニケーション領域で大手証券会社3社受注
- ✓ テキスト分析、流通基幹系、ビッグデータ関連プロダクト／サービス等を提供開始

- ✓お客様、協業先、社内など様々な起点からビジネスが発生
- ✓これらの取り組みがコアビジネスにも好影響

## 特色

お客様と共にビジネスを創る  
ソリューション技術力

共創

DNP協業

社会・技術動向からビジネスを  
創る事業開発力

社会基盤

技術研究

異業種連携など高付加価値提供

## 特色を活かした新ビジネスへの挑戦

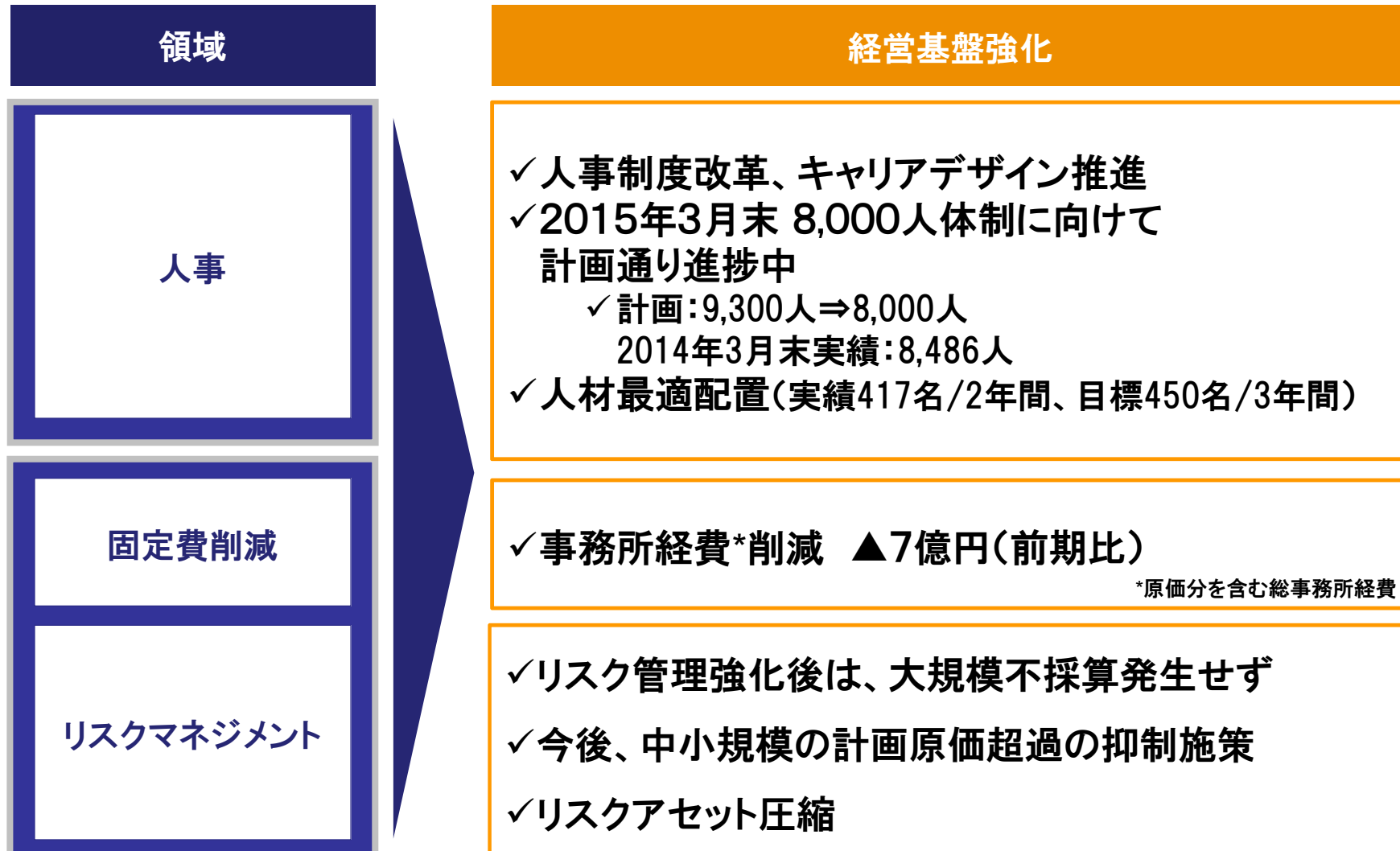
✓ 石川県「れじおん<sup>®</sup>」、「EVシェアリング」、  
堀場製作所「テレマティクス」、  
「位置情報連動型O2Oサービス」 など

✓ 柏DCとの運用統合、マーケティングプラット  
フォーム着手、共同商材展開(電子図書館・  
PRO-Vなど)、クロスセル500件 など

✓ EMS、充電インフラ、佐賀県地域安心・安全情報  
提供業務事業コンソーシアム、  
佐渡島「さどひまわりネット」 など

✓ オープンデータカタログサイト など

- ✓ 当社の重要アセットである人「財」活性化に重点取り組み
- ✓ コスト構造の継続的改善を推進





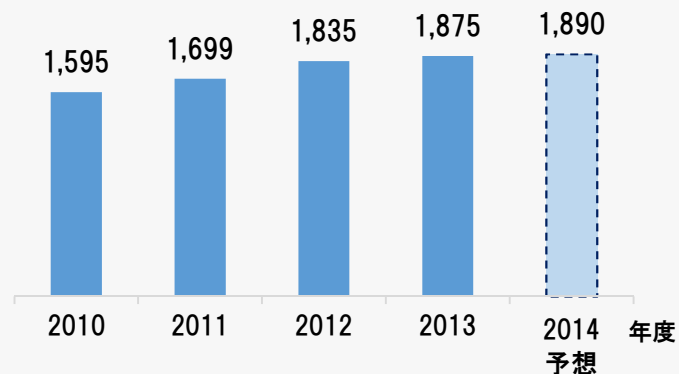
- ✓ 中期経営計画最終年度としての仕上げ
- ✓ 次期中期経営計画に向けての仕込み

	施策	目的
コア ビジネス の更なる 推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 新生ユニアデックスに、クロスサービスビジネス企画部新設</li> <li>✓ 中小規模プロジェクトの巡回チーム強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ クロスセル推進と技術融合による新サービス企画</li> <li>✓ プロジェクト状況悪化の早期発見・対処</li> </ul>
新ビジネス の更なる 拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ビジネスアグリゲーション部新設</li> <li>✓ エンハンス／セキュリティ準備室新設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 中長期の社会動向に対応した商材開発、東京オリンピック対応</li> <li>✓ 運用フェーズからのビジネス拡大の検討、ソーシャル時代対応の基盤技術強化</li> </ul>
経営基盤 の更なる 強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 人材育成： 新たなキャリアデザイン推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 新ビジネス推進や新たな技術領域に優れた人材の育成</li> </ul>

# (ご参考)重点施策の進捗について

## 〔インフラサービスの強化〕

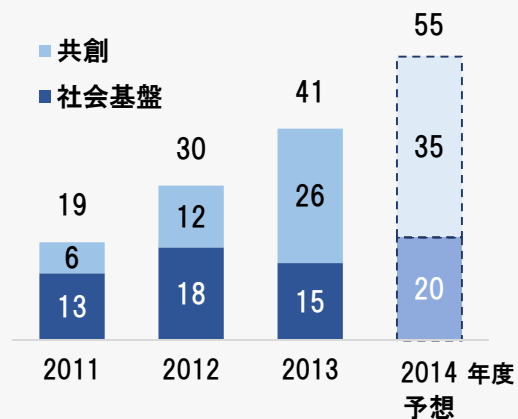
インフラ関連売上高(億円) ※システムサービス除く



サポートサービス、アウトソーシング、ネットマークスサービス、ソフトウェア、ハードウェアの合計

## 〔新ビジネスへの挑戦〕

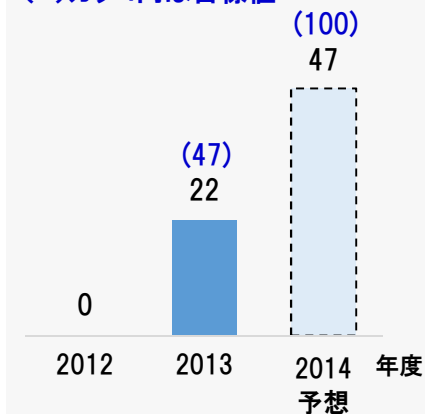
新ビジネス売上高(億円)



## 〔DNP連携〕

DNP協業売上高(億円)

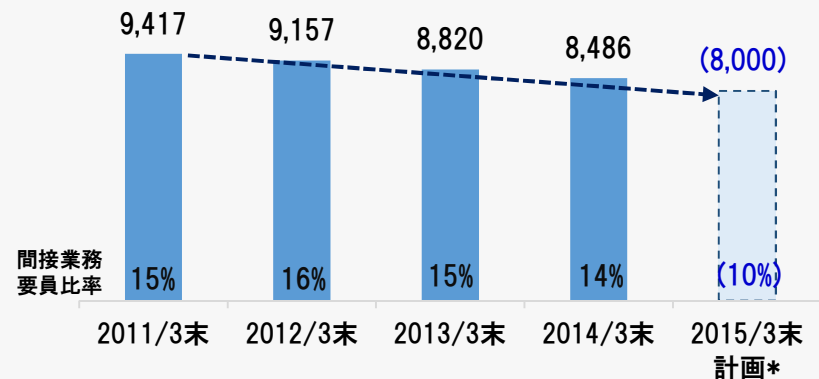
( )カッコ内は目標値



## 〔経営基盤の強化〕

( )カッコ内は目標値

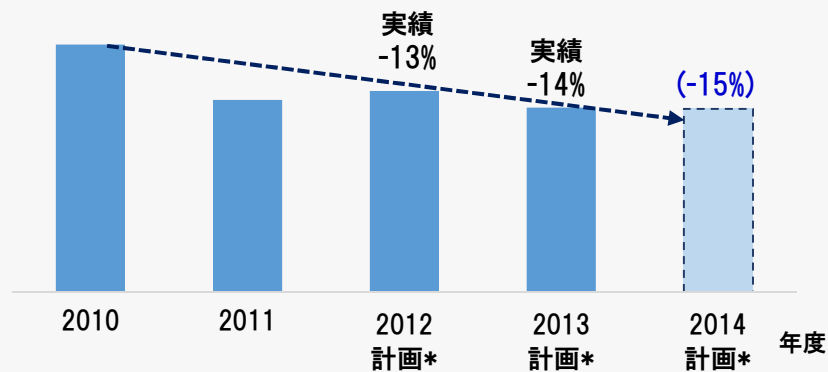
連結従業員数推移(人)



\* 中期経営計画(2012→2014)での計画値

総経費(億円)

2010年度比



# U&U

Users & Unisys

## UNISYS

※絆-ONEは、M2Mテクノロジーズ株式会社の商標です。

※れじおんは、株式会社C-GRIPの登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

### (注意)

本資料における将来予想に関する記述は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。

実際の結果は、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予想と異なる可能性があり、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。